



く せ ん 薫 泉

学校の目標
 社会の変化に自ら対応でき、豊かな心を持ち、表現力豊かな国際人を目指す。指し次のような子どもを育成する。
 ・よく考え、進んで学習する子ども
 ・いつも元気で、じょうぶな子ども
 ・こころ豊かで、やさしい子ども

開校記念日

副校長 入澤 和浩

六月一日は矢口小学校の開校記念日です。今年
 は運動会と重なってしまつたので、記念の集会を
 二十一日に行いました。

矢口小学校は、明治二十三年に矢口村付近の九
 つの村が合併されて矢口村となつた時、当時あつ
 た薫泉小学校と明林小学校を一緒にして、明治二
 十四年（一八九一年）にできました。同年六月一
 日から授業が開始されたため、この日が矢口小学
 校の開校記念日となっています。学校ができてか
 ら今年で百二十八年を数え、再来年には開校百三
 十周年を迎えます。その間に児童数増加により、
 現在の矢口西小学校、矢口東小学校、道塚小学校、
 多摩川小学校が開校し、それに伴い学区区域が変更
 になり、児童数も大きく変わりました。開校当時
 は百二十人程の児童が、多摩川小学校が開校され
 た昭和三十一年頃には千九百人に達しています。
 今は五百十九人の児童が通っています。

さて長い歴史の中で、矢口小学校の新しい伝統
 も生まれてきました。その一つが、平成二十一年
 にプール移設に伴って造られた矢口自然農園で
 す。ここには農園と共に大きな田んぼがあり、五
 年生が稲を育てています。四月に総合的な学習の
 時間で「お米プロジェクト」をスタートし、田ん
 ぼを活用した学習を行っています。今では五月に
 植えた稲も大きく育ち、秋の収穫が楽しみです。

今年はどこからかカモがやってきて、田んぼの
 中を泳いでいる姿も見られました。学校で飼って
 いるわけではありませんが、稲の間を悠々と泳ぐ
 姿は何とも楽しいですね。
 最後に、五年生の米作りには、やぐち応援隊（学
 校支援地域本部）並びに地域の皆さんにお世話に
 なっております。感謝申し上げます。

職員紹介

新規栄養職員として六月一日より黒滝千鶴 栄
 養士が、産休に入った笹渕明日香 養護教諭に替わ
 って、六月十七日より大東 碧 養護教諭が着任し
 ました。よろしくお願いいたします。

あゆみについて

主幹教諭 飯塚 克則

一学期も残すところあとわずかとなりました。
 今学期も学習、生活、学校行事等、様々な場面で
 目標に向けて努力をし、多くの成果を挙げたこと
 と思います。そのお子様の学校での様子を、通知
 表「あゆみ」にてお知らせします。お子様の学校
 での様子をご覧いただき、積極的に受け止め、次
 学期に向け、励ましていただければと思います。

《あゆみの内容》

- ① 表紙（最後まで使います。三学期までファイルに
 入れたままにしてください。）
 - ② 学習の評価・行動の記録・所見・出欠（学期ご
 とに変わるので自宅保管。）
 - ③ 自己評価（カードには選択欄と記入欄がありま
 す。記入欄は、お子様と一緒に通知表をご覧に
 なり、今学期の振り返りや、長期休業日中の目
 標等をご記入ください。その後自宅で保管しま
 す。）
 - ④ 修了証（年度末に入ります。）
- ※ファイルは六年生まで使いますので、学年が変わ
 ってもなくさないようにお願いします。

七月の生活目標

安全な生活をしよう 生活指導部

今月の生活目標は「安全な生活をしよう」です。梅雨の
 時期は校庭が使えない日が増えます。雨の日の教室遊びや
 廊下の歩き方、気温の高い日にはこまめな水分補給等、子
 どもたちに事故やけがを未然に防ぐために何が必要か声
 を掛けていきます。

また、六月六日には地震が発生した場合の休憩時におけ
 る備えとして、校庭の真ん中に移動することや校舎内にい
 た場合の避難の仕方を練習しました。二学期には、緊急時
 対策として集団下校訓練を計画しています。学校でお子さ
 んをお預かりしている間の災害や危険については、想定さ
 れる事態を綿密に計画し、毎月の訓練を見直しながら備え
 ていきます。

七月の行事予定

- 一日（月）保護者会（四・五・六年）
- 二日（火）校外学習（三年）
- 三日（水）読み聞かせ 午前授業
 六年三組研究授業（五校時）
- 四日（木）都学力向上調査（五年）
- 五日（金）児童集会 保護者会（一・二・三年）
- 八日（月）クラブ活動
- 九日（火）おはようウエーブデー 安全指導
 なかよし班遊び
- 一〇日（水）おはようウエーブデー 避難訓練（津波）
- 一一日（木）おはようウエーブデー 音楽鑑賞教室（五年）
- 一二日（金）体育朝会 なかよし給食
- 一三日（土）特別時程 土曜授業日（三時間授業）
 土曜補習教室（四校時）
- 一六日（火）エンジョイタイム
- 一八日（木）給食終 大掃除
- 一九日（金）終業式 特別時程
- 二〇日（土）夏季休業日始
- 二二日（月）〜三一日（水） 前期夏季水泳
- 二三日（火）〜二六日（金） 学習カウンセリング
- 二九日（月）〜三一日（水） 夏季補習
- 八月二一日（月）〜二八日（水） 後期夏季水泳
- 八月二九日（木）全校登校日
- 三〇日（金）夏季休業日終

専科の窓



音楽科・吉井 智子

「ダーウィンが音楽についてなんといつたかおぼえているかい？彼の説によると、人間はことばを話し出すよりはるか以前に、音楽をつくったり楽しんだりしていたそうだ。だからぼくらは音楽に、ふかい感動をおぼえるのだろうね。ぼくらの心には、太古の時代の記憶が、かすかにのこっているのだろう。」(偕成社「シャロロック・ホームズ全集1 緋色の研究」より)これは百三十年以上前に書かれたシャロロック・ホームズの台詞です。無条件に歌ったり、楽器を演奏したり、音楽を楽しむ様子の児童にこの言葉が重なります。

学校で音楽を学ぶ目標は、生活を明るく豊かにする態度、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てることだと学習指導要領に明記されています。音楽を無条件に楽しむ児童の姿を大切にしながら、より深く理解し、おもしろさを見出せることができる様に、学習を深めていきたいと考えています。

図画工作科・畑田 友希

図画工作科では、様々な材料や用具を用いて、子どもたち一人一人が試行錯誤しながら作品づくりに取り組んでいます。3年生は「これにえがいたら」という題材に取り組みました。布や段ボールなど、いろいろな材料に模様を描いて、それぞれの描き心地を比べました。4年生は「まぼろしの花」を制作しています。どんな場所に咲く、どんな花なのか想像を膨らませて、自分だけのまぼろしの花を絵に表します。5年生は「糸のこパズル」を制作します。電動糸のこぎりを正しく安全に扱い、ひとつひとつのパズルのピースを丁寧に切り分けれます。6年生は「虹から生まれた生き物」を描きました。グラデーシヨンの技法を使ってカラフルな作品に仕上げました。図工では材料や道具は必要不可欠なものです。材料や道具によって作りたいもの・作れるものが変わってきますので、今後とも準備等のご協力を、よろしくお願いいたします。

家庭科・徳橋 ひるい

家庭科では、実践的・体験的な活動を通して「衣食住」に関わることを学びます。実際に食事作りや、裁縫をしたり、身の回りの生活環境を整える活動をしたりすることで、家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として生活をよりよくしようとする態度を身に付けたいと考えています。

5年生は、はじめてのソーイングやクッキングなどの学習を通して『生活を見つめ、できることを増やしていこう』をテーマに、6年生では、5年生で学んだことを生かした学習を通して、『くふうして、生活にいかそう』をテーマに一年間学習を進めていきます。

一人一人の子どもが自分のもっている良さや可能性を伸ばし、生活を楽しく豊かにする力をつけたいと思います。子どもとのコミュニケーションを忘れずに明るく心とむ授業を展開していきたいと思っています。

移動教室(5年生)

六月十日(月)～六月十二日(水)の日程で、伊豆高原移動教室に行ってきました。二泊三日を充実した時間にするために、学年全員で学習に取り組みました。

一日目は天候に恵まれませんでした。伊豆シャボテン動物公園では、カピバラや、カンガルーなどの動物たちに出会い、自然と笑顔になる子どもたちの姿が見られました。伊豆高原学園では、焼き板体験、キャンドルファイヤーを行いました。初めての宿泊で、皆、どきどきした気持ちで布団に入っていました。

二日目は、一日目の天気が嘘のような清々しい青空でした。長い海岸沿いの道を頑張って歩いていくと、目の前には、絶景が広がっていました。

三日目は、体育室で室長・副室長が企画したスポーツレクを楽しみました。

二泊三日、大自然の中で伸び伸びと学習し、学年の絆もより深まりました。この移動教室で学んだこと、感じたことを今後の学校生活に生かしていきます。

